

アンジェロッティの逃亡計画はなぜカヴァラドッシに伝えられなかったか

精密機械工学科 1年 板垣 文瀬

『トスカ』第1幕でアッタヴァンティ公爵夫人が兄であるアンジェロッティのためにした、逃亡の手立てについていくつかの観点から探ろうと思う。

まず前提となっているのは、アッタヴァンティ侯爵夫人が聖アンドレア・デラ・ヴァッレ教会にたびたび足を運び、政治犯である兄のアンジェロッティが脱獄して逃げ込むはずの、アッタヴァンティ家礼拝堂に変装道具を隠しておき逃亡の手助けをしたというものである。

ここで、○もし私がアッタヴァンティ侯爵夫人だったら事前にカヴァラドッシも仲間に入れておくだらうと思う。カヴァラドッシは画家であり、おそらく毎日教会で絵を描いていたと思う。ならば、○何度も教会にかよわずにカヴァラドッシに頼んで、変装道具を用意してもらっておくこともできたのではないかと思うからである。またそうすれば、事前にアッタヴァンティ侯爵夫人が知りえなかったことではあるが、○カヴァラドッシの別荘のことも事前に聞いておくことができ、逃げたあとのことを考えてなかったアンジェロッティにとっては良い安心材料になったのではとってしまう。

○アンジェロッティが逃げてきた時にアッタヴァンティ公爵夫人が助けに来なかったことから、もともとカヴァラドッシの助けを借りるつもりではなかったのかとも考えることができる。ここで、○反対意見としては、カヴァラドッシと堂守が少々対立しているシーンから、逃亡の話が堂守りに漏れてしまい警察に企てがばれる可能性を考えてぎりぎりまでカヴァラドッシには伝えなかったのかもしれないという見方もあると思う。しかし、カヴァラドッシとアンジェロッティは親友であり、アンジェロッティはカヴァラドッシの人柄が秘密をしっかりと守ってくれるとわかっていると思うので、そのようにアッタヴァンティ公爵夫人に伝えておくことも可能だったのではないかと思う。

しかし、○他にも反対材料はある。それはトスカの存在である。カヴァラドッシの身に何かあったらと思うとトスカが怖くて、アッタヴァンティ公爵夫人が直接話すのは荷が重かったのかもしれない。そこで、自分では責任を負えないので兄に直接言うように仕向けた可能性もある。

以上の観点から総合的に考えて事前にカヴァラドッシに脱獄計画を伝えなかったのだと思う。